

なごや りくぐんへいき ぼきわしや せきがはら ぶんしょう
 名古屋陸軍兵器補給廠 関ヶ原分廠

MAP

東洋最大規模の火薬庫を探る!

大正3年(1914)に開設され、地元住民の大半が建設に従事。指揮には 岐阜六八連隊で後に敦賀九連隊に交代し、完成後は第九師団第一九連隊の管理下となる。

(昭和20年(1945)までの約30年間使用されました。)
 [通称] 関ヶ原町・玉の火薬庫

スケート場跡・遊園地跡

進入禁止ゾーン
 ZONE

広大な遊技場跡は火薬庫跡に建てられた。山腹を利用した半洞窟式火薬庫は利用された為一部遺構を残す!

半洞窟式火薬庫はなんと15棟もありました。



火薬庫の監視・警戒にあたる歩哨(兵士)が昼夜問わず交代で立っていました。

洞窟式火薬庫 ㊦から㊦五まで現存!

小山を掘り、内部にコンクリートを流し上部は山土で覆った後、植栽し山林のようにカムフラージュしました。洞窟式は全部で5つあり、その全てが現存しています!

必見
 ★見学可!!
 ㊦五のみ一部内部見学できます!
 火薬保管の工夫を見ずば!

見どろ
 土が崩れかけており火薬庫の上に土をもたことがわかります。

トンネルを抜けると高くもられた「土塁」の間に!!
 万一の誘爆に備えて火薬庫ごとに設けられていました。
 当時は土塁で防火された火薬庫がなんと28棟もありました。

[各棟には70~80トンも貯蔵されていました]

- DATA
- 周囲約6km
 - 面積約270ha
 - 地上清涼火薬庫 28
 - 乾燥火薬庫 1
 - 半洞窟式火薬庫 15
 - 洞窟式火薬庫 5

出ている、原始人になるという伝説が...